

議 長 日程第1「議案第11号平成29年度松田町一般会計予算」を議題といたします。
町長の提案説明を求めます。

町 長 皆さん、おはようございます。本日の定例会よろしくお願いを申し上げます。
それでは、議案第11号平成29年度松田町一般会計予算。平成29年度松田町一
般会計予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出の予算）第1条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ45億
6,000万円と定める。2、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額
は、「第1表 歳入歳出予算」による。

（債務負担行為）第2条、地方自治法第214条の規定により債務を負担する
行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」
による。

（地方債）第3条、地方自治法第230条第1項の既定により起こすことがで
きる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第
3表 地方債」による。

（一時借入金）第4条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借
入金の借入れの最高額は2億円と定める。

（歳出予算の流用）第5条、地方自治法第220第2項ただし書きの既定によ
り歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと
定める。（1）各項に計上した給料、職員手当及び共済費（賃金に係る共済費
を除く）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経
費の各項の間の流用。

平成29年3月1日提出、松田町長 本山博幸。よろしくお願いを申し上げま
す。

議 長 町長の提案説明が終わりました。これより細部説明に入ります。それでは、
担当課長の細部説明を求めます。

政策推進課長 それでは説明をさせていただきます。6ページをお開きください。第2表、債
務負担行為でございます。最上段の自動車借上料、それから2つ飛びまして土木
積算システム賃借料、ICT教育用備品賃借料、図書館システム賃借料につきま
しては、それぞれのリース料金を5年間で計上してございます。

また、第6次総合計画策定支援業務委託料としましては、平成31年度から始まります第6次総合計画の策定委託料を2年間で債務負担をさせていただきます。

また、松田町住宅整備事業、PFIで行います籠場、それから町屋の町営住宅の債務負担行為でございます。平成29年度から平成59年度まで11億2,273万2,000円を負担行為させていただくものでございます。

続きまして第3表の地方債でございます。道路整備事業、4,200万円としましては橋梁長寿命化事業、それから町道新設改良工事でございます。交通安全施設等整備事業につきましては、新松田駅南口駅前広場の整備事業として地方債を起すものでございます。公営住宅建設事業につきましては、籠場の町営住宅建設。福祉施設建設事業につきましては、さくら保育園整備事業に充てられるものでございます。斎場整備事業としましては、小田原斎場整備負担金に充てられます。それと、臨時財政対策債1億9,500万円、合計5億300万円の地方債でございます。

これより、歳入歳出の詳細について説明させていただきますが、歳入の町税部分については税務課長から、それ以外については私から、また、歳出につきましては所管の課長から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、事前にお配りしました平成29年度松田町一般会計予算説明資料と一部ダブるところがございますけども御了承ください。よろしくお願いいたします。

税 務 課 長 それでは予算書14、15ページ、それから説明資料の1ページをお開きください。町税全体では15億3,401万1,000円と前年比1,958万3,000円、率にして1.3%の減となっております。これは家屋の新築による固定資産税及び法人町民税法人税割の増収を見込めるものの、所得の減少による個人町民税所得割、土地の下落修正による固定資産税及び13年経過の税率の高い軽自動車から税の特例が受けられる環境負荷の小さい軽自動車への買い替えによる軽自動車税の減収を見込み、全体としては減となっております。

それでは税目別に説明させていただきます。まず款の1、項の1、目の1、個人町民税。本年度予算額6億43万7,000円、前年度比1,861万7,000円、3%

の減となっております。平成28年度の国の経済状況はアベノミクスの取り組みのもと雇用所得環境が改善しておりますけれども、緩やかな回復が続いているものの個人の収入は依然として本格的な回復に至っておらず、所得の見込みが見込めない状況となっております。均等割は、納税義務者数20名の増により約6万9,000円増の1,963万3,000円となっております。所得割は、納税義務者数は60名の増となっているものの、所得の伸び、土地等の譲渡所得の減少により約1,868万6,000円減の5億6,540万4,000円となっております。退職所得につきましては前年と同様の65名、720万円見込んでおります。

次に目の2、法人町民税。本年度予算額7,128万8,000円、前年度比305万2,000円、4.5%の増となっております。均等割につきましては、法人の増減により2法人が増となったものの、均等割額の大きい法人の減少により34万円減の3,059万円となっております。28年度の法人町民税の申告状況から企業の業績の上向き傾向が見られ、大企業・中堅企業を中心に増収が見込まれ、339万2,000円増の4,059万8,000円を見込んでおります。

続きまして項の2、目の1、固定資産税。本年度予算額7億7,961万9,000円、前年度比279万1,000円、0.4%の減となっております。土地に関しましては、県内の住宅地の地価は緩やかに上昇はしておりますけれども、県内県西地区におきましては下落幅は縮まっているものの依然として下落傾向にあるため、土地全体では532万3,000円減の3億9,403万3,000円となっております。また、家屋は新築家屋の増加分と新築家屋の軽減の終了による増額により477万5,000円増の2億4,984万8,000円となっております。償却資産は企業の設備の新規購入及び入れかえが一段落し、減価償却による課税額の減少により158万1,000円減の1億2,742万9,000円となっております。市町村交付金については、神奈川県で所有していました土地・家屋について町で購入したため66万2,000円の減額となっております。

次に項の3、目の1、軽自動車。本年度予算額2,495万4,000円、前年度比34万1,000円、1.3%の減となっております。これは、燃費がよい、税金が安いといった低維持費による軽自動車等の経済性の需要の高まりなどから、乗用軽四輪車の登録台数は36台増となっておりますが、先ほど説明したとおり、13年経過

車両に係る重課となった車両から、税の特例が受けられる環境負荷の小さい車の買いかえ及び廃車により34万1,000円の減となっております。

次に項の4、目の1、町たばこ税。本年度予算額5,774万3,000円、前年度比は88万6,000円、1.5%の減となっております。27年度においては、26年度の消費増税に伴う販売価格の増から販売本数も持ち直し、若干の増となりましたけれども、28年度は販売価格の値上げ及び健康志向の高まりにより、喫煙者数の減少により減収となっている状況から減額を見込んでおります。

以上で税関係の説明を終わります。

政策推進課長 ここからは、私のほうから説明をさせていただきます。地方譲与税、節、自動車重量譲与税でございます。エコカー減税の影響により、こちらは毎年減額となっております。ハイブリッド車は免税、ほかは50%~70%の軽減がかかっているものでございます。

続きまして地方揮発油譲与税。ガソリン1リットルにつき4.4円でございますけれども、石油消費抑制を目的とした暫定税率が加えられて5.2円となっております。暫定税率の次の期限は平成30年となっております。

1 ページおめくりください。利子割交付金でございます。利子課税のうち5%が県。県に納入されました利子割額の99%のうち5分の3を市町村へ交付するものでございます。配当割交付金につきましては、配当課税のうち5%を県税、その99%のうち5分の3を市町村へ同じく交付されるものでございます。株式等譲渡所得割交付金につきましては、こちらも株式譲渡所得税のうち5%が県税、その99%のうち5分の3を市町村へ交付するものでございます。ゴルフ場利用税交付金。地方消費税を県、済みません、県が収納したゴルフ利用税10分の7を交付するものでございます。標準税率は1人800円でございます。こちらにつきましてはオリンピックを機に廃止論が出ておりますが、来年度は一応継続されると。次年度以降も廃止論が出てくる可能性はございます。

続きまして自動車取得税交付金。県に納入されました自動車取得税の66.5%を市町村に、28.5%を指定市に配分するものでございます。それぞれ市町村道の延長と面積の割合に交付されるものでございます。

続きまして地方交付税。国税のうち所得税及び法人税の33.1%、酒税50%、

消費税22.3%、地方法人税の100%が原資になっておるものでございます。基準財政収入額としまして、14億4,948万1,000円。基準財政需要額としまして22億2,426万1,000円、差額を交付税として計上してございます。

18ページをお開きください。交通安全対策特別交付金でございます。こちらは道路交通法の反則金の収入相当額から取扱手数料等を控除した額を地方公共団体における道路安全施設の設置及び管理に要する経費に充てられるため、国から交付されるものでございます。

続きまして庁舎管理費負担金につきましては、上水道事業会計の職員を庁舎管理費として歳入するものでございます。民生費負担金308万7,000円増額となっておりますけれども、こちらにつきましては保育所入園児の増でございます。142名から150名ということになっております。それから使用料及び手数料の使用料、2農業使用料の458万5,000円増加となっておりますけれども、こちらにつきましてはドッグラン入園料の増、それからドッグランの駐車場の増を見込んで増額とさせていただいております。こちらにつきましては、そのほかにロウバイ入園料、西平畑公園の駐車場の使用料等が含まれております。

1ページおめくりください。最上段、教育使用料でございます。233万7,000円の減でございますけれども、こちらにつきましては園児数の減で減額となっております。それから最下段、民生費国庫負担金1,635万2,000円増となっております。説明欄にあります、障害者自立支援給付費等負担金、障害福祉サービスの増加に伴いましてふえてございます。

1ページおめくりください。国庫補助金でございます。総務費国庫補助金2,876万5,000円増加となっておりますけれども、こちらにつきましては地方創生推進交付金の増額でございます。また、民生費国庫補助金2,926万6,000円の増加となっておりますけれども、こちらにつきましては臨時福祉給付金事業が平成27年度の補正予算でございまして事業は28年度でしたので、28年度当初予算には計上がございませんでした。今回29年度予算で全てが増加となっております。衛生費国庫補助金927万2,000円の増につきましては、節の3、環境対策費補助金、地方創生推進交付金が主なものでございます。YHV関連事業費とハンター育成事業に充てられるものでございます。

続きまして土木費の国庫補助金3,591万7,000円の増加となっております。土砂災害ハザードマップ作成委託料に伴う国庫補助が319万7,000円、橋梁長寿命化修繕事業に事業費として約1,200万円、それから新松田駅南口駅前広場整備事業に約1,700万円の増加となっております。

1枚おめくりください。民生費の負担金、960万3,000円増加となっておりますが、こちらにつきましては先ほどの国費と同様、障害自立支援給付費等負担金の国費に連動して県費が増加したものでございます。

続きまして県補助金、総務費補助金、2,088万7,000円につきましては、市町村自治基盤強化総合補助金でございまして、地方創生推進事業の負担に対する県の負担が1,922万7,000円の増加となっております。また、民生費補助金3,460万円の増加につきましては、説明欄、一番下段にございます、安心こども交付金事業費補助金、こちらが全てふえております。保育所整備支援事業に伴う県費の補助でございます。

1枚おめくりください。26ページです。県支出金のうち、目の6、土木費補助金、356万3,000円がふえてございます。地籍調査費補助金及びその下段、都市計画基礎調査交付金の補助金がふえてございます。また、消防費補助金の557万7,000円の増加につきましては、土砂災害ハザードマップ作成委託、それと地域集会施設の耐震補強設計委託料、また、補強工事に対する補助金が300万9,600円の増加となっております。県委託金の総務費委託金、1,220万4,000円の減でございますけども、参議院選挙委託金の減が主なものでございます。

1枚おめくりください。寄附金としまして1億円、ふるさと応援寄附金を見込んでおります。また、財政調整基金の繰入金として3,000万円、教育施設整備基金繰入金として1,000万円でございます。教育基金につきましては、松田小学校の耐力診断委託料、松田中学校の漏水修繕工事に充当するために繰り入れるものでございます。

1枚おめくりください。雑入でございます。雑入の雑入、節の7、雑入でございます。主なものにつきましては小田原市斎場事務広域化協議会の人件費、職員を派遣しますので、その人件費658万7,000円、それからハーブガーデン分電気、上下水道の負担金として180万円、生命保険料団体事務手数料として49万2,

000円などが計上されてございます。また、町債としまして、先ほど説明しましたように保育所の整備支援事業、小田原市斎場整備事業等6本、それから次ページにございます臨時財政対策債1億9,500万円を町債として計上してございます。歳入については以上です。

議 会 事 務 局 長 議会事務局長の渋谷です。よろしくお願ひいたします。

それでは歳出予算、34、35ページをごらんください。款・項・目ともに議会費でございます。予算総額8,744万8,000円、前年度対比46万7,000円の増、率にして0.5%の微増となりました。説明欄をごらんください。予算の95%余りが12名の議員報酬及び手当、2名の職員給与、共済組合負担金で、その総額は8,277万6,000円となっております。

次に2、議会活動に要する経費でございますが、新規事業といたしまして、金額は少ないですが、議長の、県や他市町村の会議や行事に出席するために、35ページ下段の庁用車の運転管理委託料10万3,000円、町民に開かれた議会を目指すため、まず議場での一般質問を録画して放映するために、37ページの上段のパソコンやカメラ等の備品購入費を30万3,000円を予算計上いたしました。そのほかにつきましては前年度並みの予算となっております。以上のとおりでございます。

参 事 兼 総 務 課 長 続きまして総務費でございます。総務費、総額7億7,484万3,000円、前年度比2,520万3,000円の増でございます。それぞれの増減につきましては、目の説明の中でなされると思っておりますので、ここでは省略させていただきます。

項、総務管理費、目、一般管理費、一般管理費につきましては、予算額3億9,732万2,000円、前年度比509万3,000円の減でございます。職員が前年より1名減の39名として計上させていただいてございますが、それが主なものでございます。右の説明欄、1、職員人件費に要する経費は特別職2名と総務課、政策推進課、税務課、町民課、出納室の職員39名分の給与と職員管理に関する経費を計上してございます。また、節の19、最下段でございますが、負担金補助及び交付金の退職手当組合負担金でございますが、これは前年と負担率は変わらず、1,000分の170ということでございます。参考までに、一般会計に係る一般職員の人件費の総額でございますが、特別職を含め102名分で総額6億9,696

万3,000円。もう一度申し上げます。6億9,696万3,000円で、前年度より651万7,000円の減でございます。これにつきましては184ページ以下に詳細記載されておりますので、後ほど御高覧いただければと思います。

続きまして2の一般管理事務に要する経費でございます。次のページ、お願いいたします。主なものとしましては備品、次のページ最下段、備品購入費113万4,000円。これがですね、庁舎入り口のところにありますタイムカード、これが設立当初、建物ができた当初からのもので大分、老朽化が進みましたのでこれを更新させていただく、その関係の費用が主なものとして計上させていただいています。一般管理事務経費につきましては2,661万8,000円で、前年度より285万1,000円の増となっております。

続きまして次のページ、お願いいたします。(2)の職員研修事業でございます。これは前年とほぼ同額の88万4,000円で計上させていただいてございます。

続きまして情報公開制度運営事業51万1,000円。これにつきましてもほぼ前年同額でございます。説明は以上でございます。

政策推進課長

続きまして目の2、文書広報費でございます。こちらにつきましては、広報、それから、おしらせ号発行、それからホームページ、ふるさと大使の関連費用でございます。主なものとしまして、需用費の印刷製本費450万円、先ほど広報、おしらせ号の印刷料でございます。

続きまして1ページおめくりください。説明欄(2)まつだフォトコンテスト開催事業、こちらにつきましては隔年開催でございます。今年度ございませんですけども、来年度は開催をして写真を募集したいと思います。

続きまして目の3、財政管理費でございます。こちらにつきましては予算書、決算書の作成の消耗品が主なものでございます。臨時雇用賃金としましては、公会計制度導入に伴いますアルバイトの賃金を計上させていただいております。以上でございます。

会計管理者兼出納室長

続きまして4番、会計管理費です。主な内容としましては11番、需用費の印刷製本費。取引先の指定金融機関等からの毎日の実績報告の日報報告書等の印刷製本費代等で12万3,000円。12番の役務費、手数料としまして指定金融機関であり

ます、さがみ信用金庫さんへの窓口手数料等を含みまして21万1,000円でございます。以上でございます。

参事兼総務課長 続きまして目の5、財産管理費でございます。この目は町有財産であります庁舎、臨時駐車場などの管理経費を計上してございます。本年度予算は4,912万3,000円で、前年度比1,144万5,000円の減となっております。

次のページお願いいたします。減額の主な要因としましては、28年度に実施しました公有財産台帳更新及びデータ転送委託料535万ほど、それと公共施設総合管理計画策定支援業務委託料648万ほどがございましたが、これが28年度限りであったことが主な要因でございます。主な内容でございますが、13委託料、町有林整備委託料942万9,000円でございます。施行場所でございますが、チェックメイトカントリークラブの北側に隣接する町有地、松田惣領3035番地1外で13ヘクタールを間伐施行いたします。また、最明寺公園の付近、その北側になるかと思えます。松田庶子2061番地外で5.92ヘクタールを測量調査いたします。そのほか、28繰出金で663万4,000円、用地取得特別会計へ繰り出しさせていただきます。 (2) 庁用車管理経費でございます。551万4,000円でございますが、前年度比57万2,000円の減でございます。主なものとしましては、先ほど債務負担行為等で御説明しました自動車賃借料212万8,000円でございます。

続きまして庁舎管理経費2,274万6,000円で、前年度比39万6,000円の増でございますが、次のページお願いいたします。事業内容としてはほぼ前年と同額でございますが、13委託料、3つ目の来客接待用備品保守委託料、これは2階の入り口のところにありますSORA君でございます。その保守委託料を計上させていただきます。

次に(4)町営臨時駐車場管理経費でございます。これにつきましては、ほぼ前年同額で計上させていただきます。このうち仲町屋の臨時駐車場、これにつきましては現在70台の契約がございます。そのうち小山町で24台を借りていただいております。

続きまして目6、住宅管理費でございます。町営住宅の管理に係る経費を計上してございます。平成29年1月1日現在、管理戸数87戸、そのうち64戸で入

居していただいております。予算額965万7,000円で、前年より179万9,000円の減でございます。この減額の主な要因としましては借地料、中屋敷の借地料について今年度は計上してございません。

そのほか、次のページお願いいたします。上段の工事請負費でございます。今年度も町営住宅の解体整備として4棟分200万を計上させていただいております。説明は以上でございます。

政策推進課長 続きます。目の7、企画費でございます。7,192万5,000円と増加になっておりますけども、総合計画策定委託料、それから地方創生関連事業で増となっております。説明欄、49ページ（2）総合計画等推進経費としまして、13委託料、平成31年から始まります次期総合計画策定支援業務委託料540万円がふえてございます。

また、自治体交流事業としまして、1ページおめくりください。姉妹町産業まつり委託料、千葉県横芝光町の産業まつりへの委託料が計上されてございます。

定住少子化担当課長 （4）番、定住のための事業、そして少子化のための事業として1,027万8,000円でございます。主なものとしましては委託料、縁結びサポート事業委託料、そして、19負担金補助及び交付金の住宅取得促進奨励金、二世帯同居等ですね、支援奨励金で、ふるさと同窓会の開催のための支援の費用、そして雇用奨励金と民間賃貸住宅家賃補助事業を継続的に行っていきたいというふうに思っています。

政策推進課長 続きます。5）ふるさと納税管理経費5,000万円、ふるさと納税の返礼品に対して企画費で計上させていただいております。また、6）自治基本条例策定事業としまして170万円を委託料で計上させていただいております。

1ページおめくりください。2の国際交流事業に要する経費としまして減額されておりますけども、地方創生事業に振り分けたための減額でございます。

3、おもてなし推進事業に要する経費としまして、ふるさと大使おもてなし公演委託料として2回分を計上、また、システム開発委託料としまして32万4,000円を計上してございますけども、先ほどのペッパーのシステム開発及びシステム開発の教室を開催させていただく予算を計上してございます。

続きます。まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費としまして

5,738万円。臨時雇用賃金としましては、未病いやしの里の福祉センターの賃金を計上してございます。駅周辺地域広域的将来構想策定委託料につきましては、今年度事業でございます駅周辺地域における潜在力波及効果等調査委託の取りまとめをお願いするものでございます。また、未病・国際交流拠点整備等計画策定委託料につきましては、町民文化センターのスポーツ施設の運用、それからイベント開催等を委託する予定でございます。また、国際交流事業推進委託料としましては、国際交流協会組織の設立、ホームページの立ち上げ、それからツアーガイドとマッチングするためのシステムの構築などを計上してございます。また、(2)女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業としましては、拠点整備計画策定委託料、女性ニーズにこたえた駅周辺の町有施設の再編計画を予定しております。また、女性活躍推進計画策定委託料につきましては、女性活躍総合戦略、男女共同参画プランの策定を計上してございます。また、人材育成及び会議体組織形成委託料の100万円につきましては、女性活躍のための講演、それからセミナーを開催しまして人材育成をするための委託料でございます。以上です。

参事兼総務課長 続きます。目の8、町政連絡費でございます。本年度予算額1,596万円、前年度比19万2,000円の減でございます。

次のページをお願いします。主なものは報酬、行政協力委員報酬として26名分480万円、それと、19の負担金補助及び交付金、地域コミュニティ活動交付金、各自治会の活動に交付するもので1,087万1,000円計上させていただいてございます。以上でございます。

教 育 課 長 続きます。目の9、町民文化センター管理費になります。予算額3,499万3,000円、前年比918万5,000円の減でございます。文化センターの予算では、事務機器の使用料など窓口事務に係る一般事務経費と施設の維持管理経費として法定の設備機器点検委託が主なものでございます。減額の主な要因といたしましては57ページになります。15工事請負費、28年度におきましては960万円を計上させていただいております。冷却塔の充填剤更新、音響設備・ワイヤレスマイクの更新、電動照明ボタン・ワイヤーロープの交換工事などが完了したことによる減が主な要因でございます。29年度につきましては、文化センター受水槽の老朽箇所の改

修に107万円を計上しております。以上です。

政策推進課長 続きまして目の10、電算管理費でございます。こちらにつきましては庁舎内の電算端末機の賃借料や保守委託料を計上しております。（1）住民情報システム管理経費としまして、こちらにつきましては住民基本台帳や税などの住民情報システム関連経費でございます。主なものとしまして、19負担金補助及び交付金で、県内の13町村で行います情報システムの共同事業組合負担金でございます。

続きまして（2）財務会計端末機器関連経費につきましては、予算・決算または伝票等の財政に伴う電算管理費でございます。（3）電子自治体推進事業としましては、電子申請及び施設予約等、県、それから県下市町村で行う電子自治体関連経費でございます。庁内LAN関係経費につきましては庁舎内のインターネット関連、町、施設を結びますアクセス関連経費を含むものでございます。以上です。

参事兼町民課長 それでは58、59ページになります。目の11、寄出張所費でございます。予算総額522万3,000円で、寄出張所の管理運営経費として計上しております。施設の維持管理の経費が主なものとなっておりますけれども、額の大きいものとしたしましては下段、説明欄28の繰出金、国民健康保険診療所事業特別会計繰出金394万3,000円。この繰出金につきましては診療所特会で計上しております職員1名分の人件費のうち、出張所の事務費相当分について診療所特別会計へ繰り出すものでございます。以上でございます。

安全防災担当課長 続きまして目12、交通防犯安全対策費です。交通安全対策と防犯活動に関する経費を計上しています。本年度予算額は1,049万8,000円で、前年度比較54万4,000円の減となっております。

60、61ページをお開きください。平成29年度の取り組みといたしましては、説明欄（3）交通安全啓発事業として登下校時の児童の見守り活動、（4）駐輪場管理事業では放置自転車対策事業を継続して実施してまいります。

続きまして（5）防犯活動事業、15工事請負費、防犯カメラ整備工事につきましては、県補助金を活用して防犯カメラ2台の設置を予定しております。説明は以上です。

政策推進課長 それでは13、地域交通対策費でございます。1ページおめくりください。主な

ものとしましては負担金補助及び交付金、乗合バス運行事業補助金でございます。平日増便が3便、枝線乗り入れが6便、土曜日につきましては枝線2便を増便するものでございます。その下段、バス通学定期券助成事業補助金、それから高齢者バス定期券助成事業補助金につきましては、利用者、事業者と3分の1を負担してございます。バス通学定期につきましては現在65名の方、高齢者バス定期につきましては111名の方が現在利用されているところでございます。以上です。

税 務 課 長 次に税務総務費です。予算額164万5,000円、前年比30万2,000円の減でございます。これは税務管理事務に要する経費と庁用車管理経費でございます。一般事務経費149万6,000円で、主なものは63ページの確定申告時の申告書の整理及び事業所から送付される給与支払報告書の仕分けの業務のための臨時雇用賃金108万8,000円でございます。その他に庁用車の燃料代及び修繕代や固定資産評価審査委員会委員3名分の報酬であります。次に賦課徴収費、予算額1,965万5,000円、前年比265万2,000円の減でございます。減となった主なものとしまして、前年比328万6,000円減の土地鑑定評価業務委託料10万8,000円でございます。これは平成30年度評価がえに向けて、平成29年1月1日現在で標準地80カ所の鑑定評価が平成28年度に終了し、29年度は通常の下落修正に係る業務のため減となっております。説明欄、節の13、委託料、賦課資料データ入力委託料59万4,000円は給与支払報告書のデータを約5,000件分、既存の課税システム用データとして入力し、賦課の基礎資料とするものでございます。また、29年度から本人及び扶養親族の個人番号も入力することとなったため、入力データ量の増により32万2,000円の増となっております。

次に（2）収納対策事業としまして284万6,000円計上させていただいております。県税OB1名分の報酬と徴収にかかわる経費でございます。

次に65ページ、おめくりください。節の13、委託料の中の固定資産評価業務委託料334万8,000円でございます。本業務は平成30年度評価がえに向けて標準宅地に係る路線価などを算出する業務で、正確な課税のための資料作成を委託するものでございます。以上でございます。

参事兼町民課長 続きまして項の3、戸籍住民基本台帳費でございます。目の1の戸籍住民基本台帳費、全体の予算額1,324万円、前年度対比で496万7,000円の減となっております。

います。住民票とか印鑑証明、戸籍、個人番号カードの発行のための費用でなっております。個人番号カードの発行件数につきましては、1月末で1,087件のカードを発行しております。そして平成28年度で、5年前に導入した戸籍の電算化にかかわる債務負担行為が昨年11月に終わり、また12月より新たなシステム更新したことにより、予算額としては3割程度減となっております。

主なものといたしましては、次のページになります。67ページ、(2) 戸籍電算システム管理経費につきましては、戸籍電算システムの債務負担行為による賃借料と保守料が主なものとなっております。以上でございます。

参事兼総務課長 続きます。項の4、選挙費、目の1、選挙管理委員会費でございます。本年度予算額19万5,000円、前年同額でございます。委員会の運営に係る経費を計上させていただきます。

次に参議院議員選挙費は昨年実施のもので、今年度廃目とさせていただきます。

目3、町長選挙費でございます。9月22日に任期満了に伴うもので、選挙執行に係る経費789万5,000円を計上させていただきます。3月2日現在の選挙人名簿登録者数でございますが、男4,859人、女5,004人、計9,863人でございます。もう一度繰り返します。3月2日現在の選挙人名簿登録者数でございます。男4,859人、女5,004人、計9,863人でございます。説明は以上でございます。

政策推進課長 続きます。統計調査費でございます。財源内訳でございますように、ほぼ県の委託金で事業を執行しております。来年度につきましては、工業統計調査が予定をされているものでございます。

続きます。監査委員費でございます。監査29日、それからその他の研修の監査委員報酬を計上してございます。以上です。

福祉課長 それでは70ページ、71ページのほうに移らせていただきます。款3、民生費の前半、項1、社会福祉費を一括して説明させていただきます。70ページのほうをごらんください。民生費の予算額は13億442万7,000円、前年度比較1億3,603万5,000円の増となっております。主な増額要因といたしましては、社会福祉費において臨時福祉給付金事業の当初予算計上、障害福祉サービス等給付事業の増額、

児童福祉費において保育所運営事業の増額、保育所整備支援事業の経費計上などが挙げられます。項 1、社会福祉費、目 1、社会福祉総務費の予算額は 4 億 4,481 万 9,000 円、前年度比較 2,973 万 3,000 円の増となっております。主なものとして、職員人件費に要する経費といたしましては説明欄をごらんください。1、職員人件費に要する経費といたしまして、職員 11 名分の人件費、前年度比較 854 万 9,000 円の増でございます。10 名のところが 11 名になっております。

次の 2、社会福祉業務に要する経費でございます。（1）火葬料援助費の 20 万円の増額を計上しておりますが、火葬料援助費として実績に基づき 16 万円を増額して計上しております。

次のページをお願いいたします。（3）一般事務費の委託料の主なものとして、健康福祉センター指定管理委託料として前年度比 162 万 6,000 円減の 1,792 万 4,000 円を計上いたしております。減額の要因といたしましては、太陽光発電装置を屋上に設置したことによる電気料金の減、入浴施設の利用料金の増収などがございます。19 負担金補助及び交付金の主なものとして、町社会福祉協議会の職員給与費 5 名分、民生委員活動交付金という形の部分で計上させていただいております。（4）地域福祉推進事業におきましては、地域福祉計画の進行管理を行うほか、ふれあい相談員活動を促進し、地域の茶の間の設置を推進してまいります。

次のページをお願いいたします。13 委託料に、平成 26 年度に導入いたしました避難行動要支援者等情報システムの保守委託経費を計上してございます。

（7）臨時福祉給付金事業（経済対策分）におきましては、臨時福祉給付金 2,775 万円として 1 人 1 万 5,000 円、1,850 人分を予定してございます。3、繰出金に要する経費でございます。（1）国民健康保険事業特別会計繰出金と（2）介護保険事業特別会計繰出金、合わせて 2 億 8,036 万 2,000 円を計上いたしております。国民健康保険事業特別会計繰出金は総額 1 億 959 万 8,000 円、前年度比較 569 万 3,000 円の減となっております。国民健康保険事業特別会計繰出金の内訳でございますが、法定繰出分として国保会計職員 3 名分の給与費等と国保加入者の出産育児一時金、また、事務経費分と財政安定化支援事業費分としての金額と、その他一般会計繰出金分として 2,000 万円を計上いたしてお

ります。国民健康保険基盤安定制度繰出金は、低所得者に対して保険税軽減分の一定割合を補填する制度でございます。国・県の補助が財源措置されております。介護保険事業特別会計繰出金は1億7,076万4,000円で、前年度比較406万9,000円の増となっております。介護保険事業特別会計繰出金の内訳でございますが、介護保険特別会計職員の2名分の4分の3の給与費及び地域包括支援センター職員2名分の2分の1の給与費等と事務費、公費町負担分12.5%として介護給付費分及び地域支援事業費、介護予防・日常生活支援総合事業費分、また、公費町負担分19.5%としてそのほかのものを補っております。

次に目2、老人福祉総務費でございます。予算額は1億5,588万3,000円、前年度比較627万1,000円の増でございます。

75ページの説明欄をごらんください。1、高齢者福祉業務及び医療に要する経費。(1)一般事務経費の負担金補助及び交付金でございますが、社会福祉法人の吸収合併によりまして足柄広域福祉センターへの負担がなくなりましたので、前年度比較308万7,000円の減となっております。なお、来年度より介護従事者研修補助制度を創設いたしまして、介護従事者研修補助金として助成するものを新規に計上させていただいております。(2)高齢者社会参加促進事業は、前年度までの健康福祉センター送迎事業から事業の名称を変更し、老人クラブが活動しやすい体制といたしてまいります。(3)後期高齢者医療運営事業といたしまして、19負担金補助及び交付金と、28繰出金を合わせまして1億4,462万3,000円、前年度比較842万7,000円の増を計上いたしております。19負担金補助及び交付金の後期高齢者医療広域連合事務費負担金は、後期高齢者医療広域連合の運営費負担金でございます。共通経費負担金として人口割47.5%、被保険者割47.5%、均等割5%となっております。市町村定率負担金は、町負担分として後期高齢者医療広域連合から提示された額でございます。後期高齢者医療制度の公費負担は、国、12分の3、県、12分の1、市町村、12分の1の負担割合となっております。28繰出金は、後期高齢者医療保険基盤安定制度繰出金は、低所得者軽減を図るものとして後期高齢者医療特別会計繰出金を一般管理経費としての事務費分を計上いたしております。

(4)敬老会関係でございます。次のページをお願いいたします。8報償費

といたしまして421人分の敬老祝い金を初め、事業費を予定いたしております。

(5) 高齢者生きがい事業の主なものといたしましては、負担金補助及び交付金の松田町シルバー人材センターの職員2名分などの人件費用として、松田町シルバー人材センター振興補助金を計上させていただいております。なお、松田町シルバー人材センターには、シルバー人材センター援助事業費として町の補助金額を上限といたしました国庫補助制度がございまして、法人に直接補助されることとなっております。(6) 高齢者生活支援事業でございますが、緊急通報サービスについて、緊急通報システム20台をリース並びに保守委託しまして、通報等の業務については足柄広域福祉センターに引き続き委託してまいります。また、福祉有償サービス事業補助金といたしまして、引き続き町社会福祉協議会や、しあわせサービスあしがらの福祉有償サービスへ補助を実施してまいります。(7) 老人クラブ運営補助事業といたしまして、老人クラブ連合会、地区老人クラブ5クラブに補助金を支出いたしております。また、松田町老人クラブ連合会は4月1日から名称をシニアクラブ松田と改めまして、自主活動を活性化させてまいります。

76ページをごらんください。目3、障害者福祉費の予算額は2億6,396万6,000円、前年度比較3,205万2,000円の増となっております。主な要因といたしましては、障害福祉サービス等給付費の増が挙げられます。(1) 事務経費の主なものといたしましては2市8町での広域圏や足柄上郡、町の団体などに補助金を計上させていただいております。

次のページお願いいたします。(2) 重度障害者医療費助成事業でございます。主なものといたしましては扶助費の重度障害者医療費を計上させていただいております。対象者は196人、うち町単独の補助対象は43人を見込んでおります。(3) 障害福祉サービス等給付費でございます。こちらのほうの主なものといたしましては障害福祉サービス等給付費、補装具を含めて2億2,058万5,000円、前年度比較3,120万8,000円の増となっております。(4) 地域生活支援事業の主なものといたしましては障害者の外出支援に係る経費と日常生活用具の給付費でございます。(5) 障害者機能訓練・社会参加支援・啓発事業の主なものといたしましては基幹相談支援センターで障害者の相談業務に当た

ります保健師の臨時雇用賃金を初め、次のページお願いいたします。相談支援事務など広域圏で運営している事業に負担金のほうを負担してございます。なお、今年度末に郡障害児訓練会を閉室することになりましたので町母子保健事業と連携いたしまして、説明欄1行目にありますように作業療法士を雇い上げし、発達支援に資する教室を開催してまいります。（6）障害者計画等策定事業でございますが、来年度、現行の第2次障害者計画、第4期障害福祉計画を見直しし、第3次障害者計画、第5期障害福祉計画の策定を行ってまいります。主なものとしては、そちらの策定支援委託料を計上させていただいております。

目4、国民年金費の予算額は189万円で、前年度比較176万6,000円の増となっております。通常の事務に加え、法改正によるシステム改修を町村会の共同事業として行うための負担金分が増額となっております。町の国民年金加入者は2,402人でございます。担当する説明は以上でございます。

子育て健康課長 次に項2、児童福祉につきましては、予算額は4億3,764万6,000円、前年度比較6,712万3,000円の増となっております。主な原因としましては、保育所整備支援事業として町内民間保育施設の増改築費用についての補助金5,317万3,000円でございます。

項2、児童福祉費、目1、児童福祉総務費、予算額は8,655万7,000円、前年度比較11万5,000円の増でございます。1、児童福祉全般に要する経費、（1）事務経費。こちらはですね、この中に児童相談員の報酬が28年度まで入っておりましたが、29年度は事業の見直しを行い、後ほど出てきます新たに児童相談事業を立ち上げましたので、そちらのほうへ移動させていただきました。そのために減となっております。

（2）小児医療費助成事業。済みません、82、83ページをごらんください。小児医療費助成事業、子供に係る医療費を助成するために0歳から中学校卒業までの子供の医療保険自己負担分に対して助成する事業で、平成28年4月1日の対象者は421人でしたが、29年度は430人分を見込んでございます。

（3）ひとり親家庭等医療費助成事業。県要綱により、ひとり親家庭などの方にかかった医療保険自己負担分に対して助成する事業で、平成28年度と同様に75世帯180人分を見込んでございます。

(4) 子育て支援センター・ファミリーサポート事業。相談業務や世代間交流を行う子育て支援センター事業と育児援助活動により子育て世代の育児支援を行うためのファミリーサポート事業をあわせて委託するものでございます。現在、ファミサポの会員は355人となっております。

(5) 学童保育事業。放課後において、家庭に保護者が不在な児童に対して行う学童保育に係る経費でございます。平成28年4月1日では松田86人、寄10人、計96人でしたが、平成29年4月1日は松田95人、寄10人、計105人の予定でございます。

1枚おめくりいただきまして84、85ページ。(7) 子育て世帯支援事業。こちらは水道料基本料金分を補助する事業に係る経費でございます。28年度は44世帯が対象で399世帯に支払いをしております。29年度は440世帯を見込んでございます。

(8) 児童相談事業。こちらが、先ほどお話ししました新設という形で「子育て相談室のびのび」という新しくできました相談室とですね、先ほどの児童相談員の報酬を合わせてこちらにですね、児童相談事業に特化した新しい項目を設定させていただきました。母子保健コーディネーターとして保健師1名分の報酬と、児童相談員として今現在は保育士の資格を持った方を1名雇用してございます。

児童措置費、(1) 保育所運営事業。町内児童が入園している保育所の運営費の補填等に係る経費でございます。平成29年4月1日の入所予定は131名で、松田さくら保育園120人、町外の保育所等に11人の予定でございます。

(2) 保育促進事業。町内保育所が独自で取り組む一時預かり保育事業に関する補助経費でございます。平成27年は延べ235人に対して実施しました。時間平均2,329円の単価で、1,440時間という形で実施いたしました。

(3) 児童手当事業。児童を養育している者に児童手当を給付するための経費で、平成29年2月期は670人の対象者でございました。

1ページおめくりいただきまして、86、87ページをごらんください。保育所整備支援事業。こちら、全協でもお話しいたしましたけれども、松田さくら保育園の遊戯室を、ただいま保育室として使っている関係で、適正な保育をする

ために増築をするものでございます。県の安心こども基金を活用しまして、県が2分の1、町が4分の1、事業者が4分の1という負担になってございます。

飛ばしまして、衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費。職員給与費は一般職7名分でございます。

1枚おめくりいただきまして、88、89ページをごらんください。(1) 一般事務経費。地域医療や公衆衛生向上に寄与する団体への負担金ということで、広域二次病院群輪番制運営事業負担金や足柄上衛生組合負担金(休日急患診療所分)のほか、10項目の負担金でございます。

(3) 一般健康づくり事業。平成28年11月1日に健康福祉センターに設置いたしました未病の見える化コーナー、こちらの相談業務に係る経費でございます。それとですね、献血、健康づくり普及員活動などに係る経費がございます。なおですね、平成28年11月に開設しました未病の見える化コーナーでは、脳年齢計、血管年齢計などの測定機器を整備してございますが、3月1日に県の認定を受けることができましたので御報告させていただきます。

1枚おめくりいただきまして、90ページ、91ページをごらんください。寄簡易水道事業特別会計繰出金、1,560万円となっております。

続きまして予防費。疾病予防事務に要する経費として、(1) 母子保健事業。3歳児、1歳6カ月児等の健康診査事業や妊婦健康診査委託料ほか、母子保健法に基づく各種事業に係る経費でございます。また、特定不妊・不育症治療費助成事業に係る経費として230万円を計上してございます。不妊治療につきましては、27年度延べ8件、28年度は途中でございますが5件となっております。また、不育症治療につきましては28年度から実施してございますが、実績はゼロとなっております。

(2) 感染症予防事業。予防接種法に基づく定期予防接種に係る経費で、足柄上医師会、小田原医師会、足柄上病院と足柄上地区1市5町が共同契約を締結して実施している事業でございます。高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンに係る予防接種経費、成人風疹ワクチン予防接種に係る経費が計上されてございます。

(3) 健康増進事業。健康増進法に基づく各種事業の実施に係る経費で、が

ん検診委託料929万2,000円が主なもので、大腸がん検診、肺がん検診、胃がん検診などの検診を行います。29年度より新たに胃がんのリスク検診を実施することとなりました。その経費が34万8,000円計上されております。こちら150人分を見込んで自己負担額は2,000円を予定してございます。

1 ページおめくりいただきまして、92、93ページをごらんください。(5) 後期高齢者保健事業として、後期高齢者を対象とした健康診査の実施に係る経費を計上させていただいております。説明は以上でございます。

環境上下水道課長 下段の目3、環境対策費をお願いいたします。3課に及んでおりますので私のほうから一括して御説明いたします。全体の予算額は5,784万円、前年度対比3,730万4,000円の増となっております。主な要因は、小田原市斎場事務等負担金、鳥獣防除対策事業、生活排水対策事業の増加と、新たなまち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費によるものです。

1 ページおめくりください。95ページをお願いします。環境美化推進事業です。環境美化推進委員報酬以下、不法投棄ほか、環境美化一般を行う臨時雇用賃金、側溝清掃時に出る土砂などの収集運搬委託料など環境美化に関する経費を計上しております。

次に(4)鳥獣防除対策事業として386万6,000円を計上しております。12役務費の鳥獣被害対策実施隊員保険料については、鳥獣被害防止特措法に係る出勤時の保険です。次に19負担金補助及び交付金の有害獣防止柵設置材料費補助金240万円は、補助要件を緩和したため増額といたしました。狩猟免許取得補助金16万6,000円は、27年度から2分の1補助を全額補助にしております。

(5)小田原市斎場事務等負担金です。節19、負担金補助及び交付金4,409万4,000円は、例年の協議会の事務費負担金236万3,000円に加え、斎場整備費負担金として4,173万1,000円を計上しております。

次ページをお願いします。(6)の再生可能エネルギー利用促進事業は、負担金補助及び交付金、スマートハウス整備促進事業費補助金として計上してございます。

(7)動物愛護関係事業、節19、負担金補助及び交付金10万5,000円は動物愛護の精神を養うための、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の一部を補助す

る経費でございます。今年度は30頭分を計上しております。

(8) 生活排水対策事業112万8,000円は、寄地区の生活排水対策に係る経費を28年度9月定例会の補正第4号でお認めいただきましたが、審議し尽くしておりませんので委員報酬を計上させていただきました。

2、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費、ハンター育成事業300万円は地方創生推進交付金を活用した事業で、近い将来、高齢化や担い手不足により後継者不足になるおそれを打開するため、箱わな及びくくりわな、捕獲講習会を実施するとともに町内の新規ハンター育成の体制構築のため、町、猟友会、農業委員会及び農業関係団体などの関係者で検討会を開催し、猟友会及び農家の連携体制の構築を行う予定です。

次に項2、清掃費、目1、塵芥処理費になります。予算額は1億3,073万円で、前年度対比212万7,000円の減となっております。主なものといたしまして、負担金補助及び交付金、足柄東部清掃組合負担金7,963万円で、前年度対比80万円の増額でございます。

1 ページおめくりください。廃棄物収集運搬委託料は、可燃ごみ・缶・瓶・ペットボトル・古紙などの一般廃棄物の収集運搬委託に係る経費4,839万7,000円、前年度比20万6,000円の減でございます。次に目2、し尿処理費になります。予算額910万6,000円、前年対比2万7,000円の増加となっております。主なものといたしましては、くみ取りトイレのし尿の運搬に係る委託料のし尿処理委託料132万円、合併処理浄化槽整備費補助金227万4,000円、南足柄市にあります足柄衛生センターでし尿処理するための足柄上衛生組合負担金532万9,000円でございます。以上でございます。

議 長 暫時休憩いたします。10時30分より再開いたします。 (10時14分)

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (10時30分)

参事兼観光経済課長 それでは98、99ページになります。款5、農林水産業費、項1、農業費です。

1 ページおめくり願います。110ページ、111ページになります。目1、農業委員会費です。予算額245万4,000円で、1、農業委員会運営等に要する経費、

(1) 一般事務経費、節1、報酬ですけれども、農業委員8名分の報酬のほか、農業委員会の運営に係る経費を計上しており、毎月1回の委員会活動では農地

転用の審査等を行っております。また、毎年農地パトロールを実施しており、29年度には地域懇談会、農地中間管理機構への農地貸し出しの推進等を計画しております。

続きまして中段、目2、農業総務費になります。予算額5,287万5,000円、前年度対比33万4,000円の増となっております。観光推進係、農林商工係と公園係に携わる経費10名分の人件費が主なものとなっております。

1 ページおめくりください。目3、農業振興費でございます。予算額807万9,000円、前年度対比70万1,000円の増となっております。主たるものとしたしましては中段(2)施設管理経費の節13、委託料では、松田用水などの農業用水、取水口7カ所の管理委託料を計上してございます。節15、工事請負費につきましては、町が管理いたします一般農林道や水路等の補修工事と城山農道路肩補修工事を計上してございます。

(5) 里地里山保全・再生事業では、ことし新たな事業でございますけれども、寄ロウバイ園1.7ヘクタールが認定されましたことによります補助金でございます。

次に下段の目4、自然休養村管理費になります。予算額3,764万5,000円で、前年度対比1,519万5,000円の増加となっております。主にYHV事業にかかわる増額分でございます。自然休養村管理センター、みやま運動広場、寄ロウバイ園の管理、ふれあい農林体験施設にかかわる経費に加えまして、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費として新たにYHV運営事業を計上してございます。YHV運営事業経費につきましては、国の地方創生加速化交付金を活用いたしまして平成28年度に取り組んだ寄ふれあいドッグランを中心とした地方創生事業、YHV、愛犬との共生が癒しとにぎわいを創出する里づくりプロジェクトをより軌道に乗せ、経済のエンジンを回していくための組織運営や人材育成などに係る経費を計上してございます。

1、自然休養村管理に要する経費では、1 ページおめくり願います。104、105ページになります。下段(5) 寄ロウバイ園施設管理経費についてですが、ちなみにことし1月14日から2月の12日に開催されました寄ロウバイまつり期間中の入園者数につきましては2万718人で、昨年が1万2,408人でしたので、お

おむね67%の増となりました。なお、節7、賃金といたしましてはロウバイまつりに伴う駐車場整理員等の賃金134万円を計上してございます。

1 ページおめくりください。106、107ページになります。2番、ふれあい農林体験施設管理に要する経費についてですけれども、主たる経費としては、節7、賃金の566万3,000円で、7名体制でドッグランの入園及び草刈り等の園内管理に伴う臨時雇用賃金となっております。

最下段の4、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進に要する経費として1,525万7,000円が新たに加わりまして、13委託料、YHV管理運営委託料600万円におきましては、リニューアルされました体験実習館やドッグラン施設の管理運営と地域オリジナル商品等の開発支援を行ってまいりる予定となっております。

1 ページおめくりください。108、109ページになります。上段のYHV事業推進支援委託料725万7,000円につきましては、発展的に28年度に引き続きましてYHV推進協議会、YHB部会の開催運営と人材育成を図ってまいります。また、18備品購入費ではアジリティーゾーンにかかわる障害物・備品等を今後充実するためのものがございます。

次に項2、林業費、目1、林業振興費になります。予算額811万3,000円、前年度対比873万8,000円の減となっております。減の主な要因といたしましては(3)の地域水源整備委託料が平成28年度につきましては3.2ヘクタールに加えまして、平成29年度から平成33年度までの16.14ヘクタールの第3期整備計画の策定及び境界確定をいたしましたために27年度と比較し大幅な増額となっておりますけれども、平成29年度につきまして5.7ヘクタールの施行と1.2ヘクタールの現況調査のみとなってしまったために大幅の減額となっております。

続きまして目2、林道費。これにつきましては、林道施設管理費といたしまして93万円を計上してございます。節13、委託料では、町が管理する林道等の草刈り及び側溝清掃に要する委託料を計上してございます。

次に、下段の款・項ともに商工費でございます。目1、商工総務費1,756万5,000円につきましては、商工に携わる職員2名分の人件費となっております。

1 ページおめくりください。110、111ページになります。目2、商工振興費をお願いいたします。予算額2,290万4,000円、前年度対比506万7,000円の減と

なっております。減額の要因といたしましては、ハード事業といたしましての移動販売事業補助、移動販売車の購入に伴う補助金でございます。それと、JR北口の街中トイレ整備工事が今年度で終了いたしましたことによります。商工振興費予算につきましては、足柄上商工会への負担金、松田町商工振興会や中小企業に勤務する方の福利厚生、また、勤労者の住宅取得に伴う利子補助などの支援、生活資金を低利で間接融資するための預託金など、勤労者対策の一環として予算計上しております。節19、負担金補助及び交付金の最下段、商工振興商品券発行事業補助金でございますけれども、昨年度に引き続きプレミアム商品券の発行を行うための補助金となっております。平成27年度につきましては、地域住民生活等緊急支援のための交付金の中の地域消費喚起生活支援型の国庫補助金を仰ぎまして20%のプレミアムつきで実施いたしましたけれども、29年度につきましては町単独事業となりますので10%プレミアム商品券で計画しております。商工振興費の最下段、(4)コスモス館運営支援事業では、買い物弱者対策と農と商の連携を図るために地産地消の会の運営を支援してまいります。

次に最下段、項2、観光費でございます。1ページおめくり願います。112、113ページでございます。目1、観光振興費、観光振興に要する経費といたしまして予算額3,021万4,000円を計上いたしまして、前年度対比492万9,000円の増となっております。主なものは、町観光協会補助金の増額に伴うものでございます。(1)フェスティバル事業としましては840万円を計上しており、上段の節13、委託料、フェスティバル事業委託料では、桜まつり、きらきらフェスタなどの委託料として570万円を計上しております。また、中段の(3)観光宣伝事業費、節19、負担金補助及び交付金では、町観光協会補助金や8月に開催されます観光まつりの合同花火大会の負担金を計上しております。その中の町観光協会補助金の増額につきましては、昨年6月の補正予算で800万円から1,122万7,000円に増額させていただきましたときにも御説明いたしましたけれども、6月補正時点では人件費分が7月以降とし3月までの9カ月分の増額でした。29年度につきましては、その人件費を12カ月分、3カ月分増しまして12カ月分、1年分を計上したことによります増額分となっております。

ます。また、それに加えて、観光まつり、若葉まつりが、29年度新年度につきましては40周年となることから事業費分の増額をさせていただきます。

1枚おめくりください。114、115ページになります。上段の(4)松田ブランド事業につきましては、今年度はブランド認定に向け募集をかけましたところ11品目の応募がございました。この中で寄自然休養村養魚組合のサクラマスの薫製がパッケージ等の改善をもって認定の運びとなっております。29年度につきましては松田ブランドの認定マークを付した上で広く広報活動を行っていくとともに新たな認定ブランドを発掘し、販売やPR活動をより一層推進してまいる予定でございます。

続きまして目2、公園管理費になります。予算額4,993万8,000円、前年度対比108万3,000円の減となっております。最明寺史跡公園、西平畑公園ほか11公園と9つの児童遊園地の管理経費として、節13、委託料の公園清掃委託料391万円、公園植木管理委託料216万円、最明寺史跡公園内の下草刈りの委託料116万1,000円、川音川パークゴルフ場指定管理委託料123万5,000円などを計上してございます。最下段(2)西平畑公園管理といたしまして、1ページめくっていただきますと116、117ページになります。節13、委託料の西平畑公園駐車場管理委託料446万8,000円、のり面草刈り委託料206万2,000円、ふるさと鉄道運行委託料を計上してございます。また、中段の節15、工事請負費におきましては、ふるさと鉄道車台修繕工事を実施する予定でございます。(「転車台」の声あり)転車台修繕を行う予定でございます。

次に(3)ハーブガーデン管理費でございますけれども、節13、委託料、松田山ハーブガーデンの指定管理委託料617万2,000円が主たる経費でございます。平成25年度、平成25年4月から松田山ハーブガーデンパートナーズに委託しておりまして、新年度平成29年度までの指定管理委託となっております。以上でございます。

まちづくり課長 続きまして118、119ページ、款の7、土木費です。本年度7億8,521万7,000円で、前年度対比1億9,068万7,000円の増額となっております。増額については各目ごとに説明をさせていただきます。

次のページ、120、121ページをごらんください。項1、目1、土木総務費で

す。本年度7,177万9,000円を計上しております。この目では職員人件費に要する経費として8名分を計上してございます。2、土木総務全般に要する経費として、(1)一般事務経費、13委託料では、道路台帳補正業務委託料を計上しております。この委託は2年ごとに道路の新設や道路拡幅を実施した箇所の道路台帳を補正するもので、交付税の算定の基礎となる資料を作成しております。

次のページ、122、123ページをお開きください。(3)地籍調査事業として、13委託料、地籍調査委託料として新たに沢尻、仲町屋自治会の6ヘクタールの地籍調査を実施いたします。

続きまして中段、項の2、道路橋梁費、目1、道路橋梁総務費です。本年度557万1,000円で、前年度比較628万3,000円の減額となっております。主な要因といたしましては、来年度に繰り越しをさせていただきましたが、十文字橋耐震設計委託が終了したためのものでございます。説明欄11、需用費、光熱水費では、道路照明灯の電気料や町道5号線架道橋のポンプ室の電気料を計上してございます。また、下段になりますが、公有財産購入費、用地買収費は現道内に存在している民地の買収費を計上しております。

続きまして最下段、目の2、道路維持費です。本年度3,955万4,000円で、前年度比408万5,000円の増額となります。要因は、工事請負費の増額によるものです。説明欄最下段、道路維持費に要する経費(1)一般事務経費。次のページをおめくりください。説明欄最上段11、需用費、修繕料では、町道の小規模修繕、13委託料では、町道緑地清掃と町道のり面委託料など日常の維持管理経費を計上しております。(2)道路補修事業、15工事請負費では、従来の道路補修工事費や安全施設設置工事費に加え、公共施設の老朽化対策として町道17号線、町道寄11号線の舗装工事を計上いたしました。また、矢倉沢踏切付近から松田小学校に向かう町道3号線、町屋地内の立花高校前の町道16号線などの歩行者の安全対策としてグリーンベルトの舗装やJR松田駅北口から東方面への町道6号線の側溝ぶたの老朽化対策として床版化による工事費を計上いたしました。次に中段、目の3、道路新設改良費です。本年度6,397万円で、前年度対比1,532万6,000円の減額となります。説明欄(2)道路新設改良事業費、13委託料、道路用地登記書類作成業務委託料は、用地買収や狹隘道路協議で寄

附を受けた用地の分筆や登記書類の作成をする費用となります。松田庶子線道路詳細設計委託料は、酒匂川左岸堤防道路の城山地区から山北町境までの道路事業において、県西土木事務所との河川協議の基本となる測量や図面を作成を行うものです。町道19号線町屋踏切概略設計委託は、踏切拡幅に伴うJR協議資料の作成や工法検討資料の作成を行うもので、この2つの委託は次年度以降の事業促進を図るために計上いたしました。その下になります、15工事請負費、道路後退用地整備工事といたしまして、狹隘道路協議に伴うセットバックした箇所での道路整備を行うものです。寄15号線道路改良工事は今年度より事業着手している箇所、狹隘道路の拡幅を実施している箇所であります。町道19号線道路改良工事は、平成28年第1回議会定例会で町道の延伸をさせていただきました路線で、用地買収が完了したため工事費を計上しました。町道1-9号線道路改良工事は、昨年12月第4回定例会で新たに認定をいただいた路線で、用地交渉と並行して工事实施を行うため計上いたしました。町道19-6、町道1-9号線とも新規事業箇所でございます。その下、17公有財産購入費、用地買収費は、次年度以降の道路整備につなげるための用地取得費でございます。その下、19負担金補助及び交付金、電柱移設負担金は町道寄15号線道路改良工事に伴う東電柱の移設に係る経費でございます。最下段、22補償補填及び賠償金、物件損失補償費は用地買収した箇所の建物・工作物等を補償するためのものがございます。

次のページをお願いいたします。目の4、橋梁維持費です。本年度6,550万円で、前年度比2,700万円の増額です。要因といたしましては、後ほど説明いたします工事請負費の増額によるものであります。説明欄(2)橋梁長寿命化事業、13委託料、橋梁長寿命化に伴う詳細設計委託料として、虫沢川に係る長寿橋の耐震及び修繕設計費を計上いたしました。また、法で定められた橋梁定期点検業務委託料を前年に引き続き15橋分計上いたしました。15工事請負費、橋梁長寿命化修繕工事では、今年度に引き続き田代橋の改修工事を計上、また、その上流にあります大寺橋を来年度より修繕工事及び耐震補強工事を実施いたします。

続いて項の3、河川費、目の1、河川総務費です。本年度4,923万4,000円で

す。前年度比較1,018万7,000円の増額です。要因といたしましては、後ほど説明いたします工事請負費の増額によるものであります。説明欄（１）一般事務経費、11需用費、修繕料で、町が管理している沢の倒木撤去や補修などの維持管理費を計上いたしました。（２）河川・水路自然浄化対策推進事業、15工事請負費、河土川整備工事を今年度に引き続き計上いたしました。

続きまして項の４、都市計画費、目の１、都市計画総務費です。本年度888万6,000円です。説明欄をお願いいたします。（１）一般事務経費、13委託料、都市計画基礎調査業務委託料は、おおむね５年ごとに都市計画区域内の人口、産業、土地利用の状況などを調査し、次回の線引き見直しの基礎資料を作成するものです。

続いて19負担金補助及び交付金では、木造耐震診断補助金や生垣設置奨励金、次のページをお開きください。説明欄、上段から３行目、木造耐震改修工事費補助金、危険ブロック塀等撤去補助金など、減災に向けた補助金を計上させていただきました。

続きまして目の２、都市整備事業費です。本年、来年度１億5,061万5,000円で、比較1,339万8,000円の増額です。要因といたしましては、補償補填及び賠償金の増額によるものです。説明欄（１）新松田駅南口駅前広場整備事業、13委託料、新松田駅南口建物・工作物調査委託料、17公有財産購入費、用地買収費、22補償補填及び賠償費、物件損失補償は、南口駅前広場整備事業の用地取得を最優先とし、用地買収費と物件損失補償費を、それに伴う建物調査費を計上いたしました。なお、予算説明資料におきまして、製本時にこの物件損失補償費の説明欄が印刷されませんでした。大変申しわけございませんでした。

続いて（２）まちづくり構想事業、13委託料、新松田駅周辺地域まちづくり基本構想策定委託料は、平成28年から30年度までの３年間の債務負担行為により実施させていただいております２年目の事業となり、駅周辺のまちづくりの基本構想を策定しております。

次に目の３、都市排水路費です。170万円の計上となります。説明欄（１）施設管理費、11需用費、修繕料は、水路の小規模修繕料であり、15工事請負費は、町屋地区都市排水路の補修工事でございます。老朽化した水路を補修する

ものであります。

続いて目の4、下水道費です。下水道事業特別会計繰出金として1億5,380万円を計上しております。これは昭和62年から下水道事業115件分の長期債元利償還金などに充当するもので、前年度比較1,320万円の減額となっております。

続いて項の5、住宅費、目の1、住宅費。今年度1億7,460万3,000円で、前年度比較1億7,202万9,000円の増額となります。要因につきましては家屋購入費によるものです。

次のページをお開きください。説明欄17、公有財産購入費、家屋購入費は、籠場地区の町営住宅整備に係るものであり、PFI事業として設計・施工・管理・運営まで1つの事業として位置づけさせていただいている中で、工事完了時点で建設工事費相当額を支出し、町が当該物件の所有者となるためのものです。以上で土木費の説明を終わります。

安全防災担当課長

続きまして款の8、項の1、消防費、目の1、常備消防費。本年度予算額1億7,087万6,000円は小田原市消防への広域消防事務負担金です。前年度比較23万1,000円の増となっております。

続きまして目の2、非常備消防費は消防団の運営に係る経費を計上しております。本年度予算額は1,757万8,000円で、前年度比較24万2,000円の減となっております。主な減の理由としましては、神奈川県消防協会足柄上支部視察研修に伴うバス借り上げが足柄上郡5町で輪番制となっており、平成29年度では予算措置の必要がなくなったことによるものでございます。

続きまして132、133ページをお開きください。目の3、消防施設費です。この目は、消防団の詰所、消防自動車、消火栓などを維持管理するための経費です。本年度予算額は652万4,000円で、前年度比較9万1,000円の減となっております。新たに予算計上させていただきましたのは、説明欄(3)消防水利整備事業、15工事請負費、防火水槽周辺舗装工事です。この事業は、庶子、中里地内の町有地に設置しています防火水槽周辺の雨水・雑草対策として実施するものです。

続きまして目の4、災害対策費の本年度予算額は2,240万8,000円で、前年度

比較915万2,000円の増となっております。新たな予算計上といたしましては、説明欄、臨時雇用賃金100万5,000円、こちらにつきましては松田地域防災計画を町職員で回転するなどの業務執行するのに当たり、一般的な事務を行っていただくために臨時雇用させていただくものです。

続きまして134、135ページをお開きください。説明欄上段の13委託料、土砂災害ハザードマップ作成委託料639万4,000円です。財源内訳といたしましては、国費319万7,000円、県費106万5,000円、町費213万2,000円となっております。この事業は神奈川県が平成29年1月20日付で松田町における土砂災害・急傾斜地崩壊区域を新たに指定したことに伴い、町民の皆様指定された区域や災害に対する心構えなどを周知するために作成し、全世帯に配付するものです。指定されました区域は、松田地区で20カ所、寄地区で24カ所、町全体で44カ所となっております。

続きまして(3)自主防災会育成強化事業、19負担金補助及び交付金の中で、チェーンソー取扱講習受講費補助金につきましては、各自治防災会倉庫に整備していますチェーンソーを安全に取り扱っていただけるよう、チェーンソー作業従事者特別教育講習を受講していただくのに当たりまして、受講料1万2,000円のうち8,000円を補助するものでございます。

続きまして136ページ、137ページをお開きください。説明欄15、工事請負費、同報無線屋外子局改修工事につきましては中河原水源付近に設置しています子局の電波受信能力を向上させるため、アンテナを改修させていただくものです。以上が主な予算増の要因となっております。

大変申しわけありませんが、ページ86、87ページをお開きいただきたいと思っております。大変申しわけございません。86ページの上段になりますが、項3、災害救助費、目1、臨時災害救助費につきましては、本年度予算額22万3,000円、前年度比較91万円の減額となっております。主な減額の要因といたしましては、28年度まで民間賃貸住宅の東日本大震災の支援として予算計上させていただいておりましたが、27年度をもちましてですね、その方が転出をされたことに伴いましてですね、予算計上がなくなりましたので91万円の減となっております。なお、その他につきましては陸前高田市で開催されます慰霊祭関係に参加する

ための経費を計上させていただいておりますので、よろしくお願いたします。
説明は以上です。

教 育 課 長 それでは136、137ページをお願いいたします。款の9、教育費。本年度予算額4億6,885万8,000円、対前年度4,542万6,000円の減、率にして8.8%の減額でございます。項の1、教育総務費、目の1、教育委員会費でございます。教育委員会費につきましては、説明欄、教育委員4名分の報酬が主なものでございます。下段2、目の2、事務局費になります。予算額2億8,643万円、対前年度2,046万3,000円の減でございます。ここにつきましては、職員12名分の人件費が主なものでございます。

139ページをごらんください。中段2、幼稚園、学校教育活動全般に要する経費の中の1報酬、幼稚園バス運転手報酬につきましては、松田幼稚園1名に係る運転手の報酬でございます。28年度、ここに教育指導員報酬がございましたが、ここは減の主なものとなっております。それから、中段の7賃金、臨時雇用賃金195万3,000円につきましては、これは寄幼稚園運転員の賃金となります。

次のページをお願いいたします。事務局費の職員に係る健康診断、それから教育関連の加盟団体への負担金が主なものでございます。

次のページをお願いいたします。中段の(7)英語教育推進事業におきましては、英語教育補助教諭として1名増員し、2名体制で児童・生徒の英語教育の向上に努めてまいります。その予算として2名分の報酬790万4,000円を計上してございます。教育施設整備基金積立金に3,000万円を計上し、防災備蓄品整備事業は新たに就学する小学1年生に対してヘルメットの配付、また、児童・生徒・教職員用の食糧備蓄を計画的に実施していく予算として111万3,000円を計上してございます。

145ページをお願いいたします。上段(12)学校ICT推進事業といたしまして、平成29年度で小学5年生から中学3年生まで1人1台のタブレット端末を整備いたします。3年計画で子供たちへの配付が完了し、今後はさらに利活用についてソフト面を充実させていきたいと考えております。(13)松田中学校・寄中学校統合に係る経費でございます。これにつきましては統合準備委員

会を設置し、具体的な準備に取りかかる経費を計上してございます。(15) 土曜日の教育活動支援事業でございます。子供の居場所づくりとして土曜日授業や夏休みの寺子屋教室を拡充し、29年度につきましては企業が実施しております子供向け教室なども取り入れていきたいというふうに考えてございます。

147ページをお願いいたします。中段4、木の学校づくり先導事業に要する経費でございます。28年度の校舎建設基本計画をもとに、29年度につきましては設計に係るプロポーザルやPFI手法を検討し、実施を行い、基本設計ができるよう取り組んでまいります。その委員会の設置にかかわる予算として90万円を計上してございます。

次に項の2、小学校費、目の1、寄小学校費でございます。予算額1,244万5,000円、対前年度66万7,000円の減でございます。学校施設の維持管理に関する経費で、用務員の賃金、それから149ページにかけまして施設の法定点検委託などが主なものでございます。

1枚、もう1枚で、151ページをごらんください。目の2、松田小学校費になります。予算額4,596万円、対前年度974万3,000円の増でございます。学校施設の維持管理に関する経費、用務員の賃金、153ページをお願いいたします。施設維持管理の法定点検委託などが主なものでございます。中段の(2)学習支援事業では、学習支援員・介助員の賃金、また、(4)施設整備事業の節13、委託料につきましては、校舎建てかえに伴う校舎耐力度診断調査委託料といたしまして800万円を計上いたしました。

155ページをお願いいたします。上段の(2)道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業につきましては、28年度に県の指定を受け、モデル校として松田小学校・松田中学校で道徳教育の実践授業を行っております。29年度につきましては2年目ということで、その効果を発表をしていく段取りとなっております。全額、県補助金の対象事業となっております。

156、157ページをお願いいたします。項の3、中学校費、目の1、寄中学校費です。予算額1,172万6,000円、対前年度318万3,000円の減でございます。学校施設の維持管理に関する経費、用務員の賃金、施設維持管理に係る法定点検委託などが主なものでございます。

159ページをお願いいたします。下段、目の2、松田中学校費でございます。予算額3,841万3,000円、対前年度56万1,000円の増でございます。学校施設の維持管理に関する経費、用務員の賃金、次のページ、161ページにまたがりませんが、校医報償、学習支援員の賃金、施設維持管理の法定点検委託などが主なものでございます。

163ページをお願いいたします。上段の(4)施設整備事業の15工事請負費は、これにつきまして220万8,000円、屋内運動場・体育館の雨漏り対応として壁の修繕を実施していくものでございます。

164、165ページをお願いいたします。上段、項の4、幼稚園費、目の1、松田幼稚園費でございます。予算額1,999万1,000円、対前年度414万3,000円の減でございます。29年度の在園園児数の見込みは91人でございます。年少1クラス、年中2クラス、年長2クラスの計5クラスとなる見込みで進めております。年少3歳児につきましては1クラスということでございますが、初めての団体生活・共同生活を配慮いたしまして、当面は補助教諭を配置していきたいと考えてございます。幼稚園の運営につきましては園長以下、副園長、教諭、補助教諭、運転手、警備員でございますけれども、本年度では園長の報酬、校医報償、補助教諭の賃金が主なものでございます。28年度に引き続き、幼児期の運動能力向上のため幼児に適した運動を取り入れていく事業委託を行ってまいります。

167ページをごらんください。中段より少し下になります、給食管理に要する経費でございます。給食調理を含め、栄養士の派遣により業務委託料として635万3,000円を計上してございます。

下段の目2、寄幼稚園費でございます。予算額449万5,000円、対前年度92万5,000円の減でございます。幼稚園管理運営に係る賃金、補助教諭になります1名分119万2,000円を計上してございます。

169ページをお願いいたします。29年度の在園園児数の見込みにつきましては、寄幼稚園は10名でございます。年少・年中で1クラス、年長1クラスの2クラスとなる見込みで現在進めております。幼稚園の管理運営に係る法定点検等の委託が主なものでございます。

170、171ページをお願いいたします。次に項の5、社会教育費、目の1、社会教育総務費でございます。予算額324万6,000円、対前年度5万円の増でございます。1報酬、社会教育員14名分の報酬、社会教育指導員の報酬1名分、人権研修、家庭教育学級としてPTAに委託している事業などが主なものでございます。

次に目の2、青少年教育費でございます。予算額206万6,000円、対前年度8万円の減でございます。19負担金補助及び交付金では、毎年実施しております中学生交流洋上体験研修、青少年交流キャンプ教室を昨年引き続き実施してまいります。（2）青少年教育推進事業といたしまして、青少年問題協議会委員報酬、青少年指導員報酬として64万円を計上しております。

173ページをお願いいたします。目の3、児童館費でございます。河内児童センター、湯の沢児童館、2施設の維持管理経費でございます。29年度につきましては、河内児童センターの耐震補強工事を実施してまいります。

目の4、公民館費でございます。予算額1,490万8,000円、対前年度1,573万円の減でございます。地域集会施設指定管理者委託料が主なものでございますけれども、下段の15工事請負費につきましては、城山地域集会施設、田地域集会施設、それから宮地多目的集会施設の耐震補強工事に756万円を計上しております。

174、175ページをお願いいたします。次に目の5、図書館費になります。予算額1,092万6,000円、対前年度207万7,000円の増でございます。貸し出し図書の検索パソコン、また、同パソコンの保守委託や貸し出し図書の購入、CDの購入費などが主なものでございます。

次に目6、文化財費でございます。予算額164万3,000円、対前年度9万円の増でございます。主なものといたしましては、文化財保護委員5名分の報酬、歴史講演会、それから民俗芸能伝承教室を実施してまいります。

176、177ページをお願いいたします。上段、項の6、保健体育費、目の1、保健体育総務費でございます。予算額1,418万2,000円、対前年度38万3,000円の減でございます。主なものといたしましては（2）スポーツ振興事業のスポーツ推進委員報酬10名分、また、19負担金補助及び交付金の町体育協会補助金

664万5,000円が主なものでございます。また、チャレンジデー事業負担金としまして13万8,000円、これにつきましてははですね、今年度29年度に対戦地が決まりました。縁があるんでしょうか、陸前高田市との対戦に決まりましたので御報告させていただきます。5月31日、ことしはですね、5月31日最終水曜がチャレンジデーの日となります。議員の皆様にも各方面での御参加、呼びかけに御協力をお願いしたいと存じます。以上で説明を終わらせていただきます。

政策推進課長　　続きます、款10、公債費でございます。元金及び利子が計上されております。198ページ以下起債の117本の元金及び利子が計上されております。また、11予備費としまして2,500万円を計上してございます。181ページ以下に参考資料が添付してございますので、後ほど御高覧賜りますようお願いいたします。説明については以上になります。